

第3回札幌恵庭自転車道線恵庭工区延伸ルート 検討委員会

ニューズレター No.3

2010年8月20日発行
発行 / 恵庭市

「第3回札幌恵庭自転車道線 恵庭工区延伸ルート検討委員会」が開催されました

「札幌恵庭自転車道線 恵庭工区延伸ルート検討委員会」の第3回検討委員会を、去る7月22日(木)9時30分から恵庭市役所にて開催し、委員12名と本委員会のアドバイザーとして、北海道大学工学研究院の岸邦宏准教授が出席しました。



初めにルート案の方針について意見交換を行いました。

その後2つのグループに分かれて、整備の方針について話し合いが行われ、最後に各グループから発表を行いました。

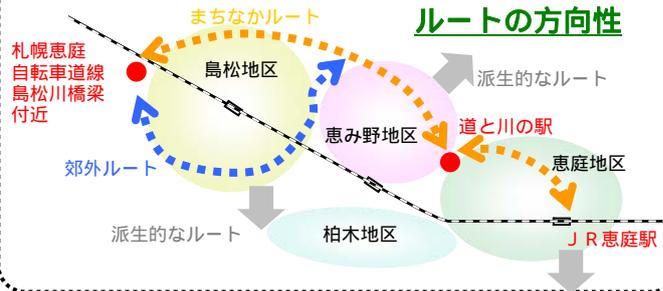
ルート案の検討について

- ・島松～恵み野～恵庭の「まちの中を通るルート」、西島松～盤尻～恵庭の「郊外部を巡るルート」ともに恵庭らしさを出していくことが大事。
- ・子供たちが通りたくなるルートや地域を再発見できるルートが良い。
- ・地域の高齢化が顕著。高齢者も車椅子も使える生活ルートが良い。
- ・市の総合計画でも花のまち恵庭を観光のメインにしようとしている。まちづくりの起爆剤となりえるルート。
- ・札幌～北広島は一直線なので、かえって恵庭は街なかを通ることが恵庭らしさとなり得る。
- ・サイクリストとしては、快適に走れることを望むが、一市民としては地域を結ぶ街なかを通れるほうが良い。
- ・折衷案はできないだろうか。農村風景と街の両方。
- ・恵庭南高の自転車通学の状況を見ると、事故の危険もあり、盤尻側も大事。

【方向性】

- サイクリングロードをまちづくりの契機にする意見は一致。
- 盤尻方面も良いが、ルートの経由地や終点を考えると、派生的なルートとして位置づけても良いのではないか。

『まちの中を通るルート』を基本とし、引き続き検討を行う



グループによる意見交換

2つのグループに分かれて「利用イメージ」と「整備の姿」をテーマに、話し合いを行いました。

Aグループ

「市民」が利用する時のイメージ

- ・ウォーキングの利用もあるのではないか。
- ・高齢者の散歩や車いすの利用もあるのではないか。
- ・恵み野駅から北は恵庭北高生の利用が多だろう。

「市民以外」が利用する時のイメージ

- ・“田舎らしさ”を体感する。
- ・島松再発見。

「整備の姿」のアイデア

- ・恵み野周辺に軟石を活用したステーションの設置。
- ・腰掛けるベンチも軟石で。
- ・街中に呼び込む仕掛け。
- ・柏木川、堤防も兼ねて整備。
- ・自転車道として色分けなど、明示されれば分かり易い。
- ・沿道に並木を！



Bグループ

「市民」「市民以外」が利用する時のイメージ

- ・生活道路が充実して、道として機能しているので、郊外と街中を通るルートが良い。
- ・西島松北交流公園は景色が良く、通過ポイントにふさわしい。
- ・歩行者と自転車利用者をしっかり分離した道路で、将来のことも考えると、駅に至るルートが多く利用され、大事。

「整備の姿」のアイデア

- ・地図やサインがあると、利用しやすい。
- ・冬は歩くスキースに活用。
- ・自転車の駅があると良いのではないか。設置が難しければ道と川の駅で駐輪場を。
- ・立体交差の全箇所整備は難しい。



次回の第4回委員会は、9月中旬開催を予定しています。

「札幌恵庭自転車道線恵庭工区延伸ルート検討委員会」に関するお問い合わせは

【委員会 事務局】 恵庭市 企画振興部都市計画課 | 〒061-1498 恵庭市京町1番地 | 0123-33-3131
【委員会アドバイザー】 北海道札幌建設管理部 千歳出張所 道路係 | 〒066-0067 千歳市桂木6丁目1-28 | 0123-23-4191